



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年8月3日
上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社ユー・エス・エス
コード番号 4732 URL http://www.ussnet.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安藤 之弘
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役統括本部長 (氏名) 山中 雅文 TEL 052-689-1129
四半期報告書提出予定日 平成27年8月6日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	17,004	4.4	8,621	7.1	8,788	7.3	5,788	10.4
27年3月期第1四半期	16,282	△0.7	8,050	1.0	8,192	1.2	5,243	5.9

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 5,845百万円 (10.0%) 27年3月期第1四半期 5,315百万円 (6.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	22.38	22.34
27年3月期第1四半期	20.28	20.25

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	168,501	144,778	85.4
27年3月期	174,106	144,039	82.2

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 143,941百万円 27年3月期 143,098百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	18.50	—	19.20	37.70
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期（予想）	—	20.40	—	20.40	40.80

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	34,200	6.0	16,500	4.9	16,800	4.8	11,050	6.4	42.73
通期	71,200	5.5	35,000	4.8	35,600	4.6	23,400	8.0	90.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

28年3月期1Q	313,250,000株	27年3月期	313,250,000株
28年3月期1Q	54,667,035株	27年3月期	54,691,235株
28年3月期1Q	258,569,765株	27年3月期1Q	258,434,624株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

(注) 平成27年3月期の期末自己株式数には685,600株、平成28年3月期1Qの期末自己株式数には663,600株、U S S従業員持株会専用信託が所有する株式が含まれております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
4. 補足情報	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

国内自動車流通市場は、昨年4月の消費税率引上げによる影響により本格的な回復には至っていないものの、当第1四半期連結累計期間における登録車の登録台数は、新車および中古車ともに増加しました。

一方で、軽自動車は、平成27年4月からの軽自動車税増税により新車の登録台数が大幅に減少したのに対し、増税の影響を受けない中古車の登録台数は増加しました。

その結果、新車登録台数は1,097千台（前年同期比5.5%減）、中古車登録台数は1,618千台（前年同期比3.2%増）となりました。（（一社）日本自動車販売協会連合会、（一社）全国軽自動車協会連合会調べ）

国内におけるオートオークション市場は、新車販売台数の減少に伴う下取車の減少などから出品台数は1,861千台（前年同期比0.8%減）となりましたが、成約台数は1,151千台（前年同期比4.2%増）、成約率は61.9%（前年同期実績58.9%）となりました。（（株）ユーストカー調べ）

このような経営環境の中、U S Sグループの当第1四半期連結累計期間における経営成績は、売上高17,004百万円（前年同期比4.4%増）、営業利益8,621百万円（前年同期比7.1%増）、経常利益8,788百万円（前年同期比7.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益5,788百万円（前年同期比10.4%増）となりました。

オートオークション

U S Sグループは、オートオークション市場全体の出品台数が伸び悩む中、大規模会場を中心に好調に推移し、出品台数は608千台（前年同期比4.2%増）、成約台数は391千台（前年同期比7.0%増）、成約率は64.3%（前年同期実績62.6%）となり、オークション手数料収入が増加しました。

営業費用については、近年新築した名古屋会場や岡山会場の減価償却費が減少したものの、商品売上原価などが増加しました。

この結果、オートオークション事業は、外部顧客に対する売上高12,852百万円（前年同期比6.0%増）、営業利益8,273百万円（前年同期比8.0%増）となりました。

中古自動車等買取販売

中古自動車買取専門店「ラビット」は、前年同期と比較して買取台数が増加したことに加え、好調なオークション相場により台当たり粗利益が増加したことから増収増益となりました。一方で、事故現状車買取販売事業は、販売台数の減少により減収減益となりました。

この結果、中古自動車等買取販売事業は、外部顧客に対する売上高2,421百万円（前年同期比1.5%増）、営業利益137百万円（前年同期比44.9%増）となりました。

その他

廃自動車等のリサイクル事業は、金属スクラップ市況が低調に推移したことなどから減収減益となりました。

廃ゴムのリサイクル事業は、主力製品であるカラー着色の弾性舗装用ゴム製品の販売が伸び悩んだことに加え、長期在庫等の処分費用が発生したことなどから営業損失となりました。

中古自動車の輸出手続代行サービス事業は、取扱台数は増加したものの、保管料収入が減少したことなどから増収減益となりました。

この結果、その他事業は、外部顧客に対する売上高1,730百万円（前年同期比2.1%減）、営業利益153百万円（前年同期比40.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は168,501百万円となり、前連結会計年度末と比較して5,604百万円減少しました。これは、現金及び預金が4,754百万円減少したことや、オークション貸勘定が784百万円減少したことなどによるものであります。

負債合計は23,723百万円となり、前連結会計年度末と比較して6,343百万円減少しました。これは、未払法人税等が3,670百万円減少したことや、オークション借勘定が1,554百万円減少したことなどによるものであります。

純資産合計は144,778百万円となり、前連結会計年度末と比較して738百万円増加しました。これは、利益剰余金が811百万円増加したことなどによるものであります。

<キャッシュ・フローの状況>

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して4,754百万円減少し、24,708百万円となりました。なお、当第1四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は790百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益8,759百万円（前年同期比6.2%増）、法人税等の支払額6,596百万円（前年同期比17.9%減）によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は484百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出437百万円（前年同期比28.1%減）によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は5,059百万円となりました。これは主に、配当金の支払額4,977百万円（前年同期比2.4%増）によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の業績予想につきましては、想定する範囲内で推移しており、前回公表（平成27年5月13日発表）の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）および「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更および少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間および前連結会計年度については、四半期連結財務諸表および連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)および事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	49,862	45,108
オークション貸勘定	7,885	7,100
受取手形及び売掛金	2,963	2,663
有価証券	10,100	10,100
たな卸資産	1,125	1,134
その他	1,436	2,070
貸倒引当金	△39	△40
流動資産合計	73,334	68,138
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	31,070	30,625
土地	57,760	57,762
建設仮勘定	456	476
その他(純額)	2,100	2,112
有形固定資産合計	91,388	90,976
無形固定資産		
その他	1,137	1,141
無形固定資産合計	1,137	1,141
投資その他の資産		
投資その他の資産	8,331	8,333
貸倒引当金	△85	△88
投資その他の資産合計	8,245	8,245
固定資産合計	100,771	100,363
資産合計	174,106	168,501
負債の部		
流動負債		
オークション借勘定	9,753	8,198
支払手形及び買掛金	556	481
未払法人税等	5,916	2,246
引当金	618	948
その他	7,066	5,618
流動負債合計	23,910	17,492
固定負債		
長期借入金	300	300
退職給付に係る負債	149	174
資産除去債務	682	701
その他	5,023	5,054
固定負債合計	6,156	6,231
負債合計	30,067	23,723

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,881	18,881
資本剰余金	18,933	18,934
利益剰余金	149,718	150,529
自己株式	△38,878	△38,859
株主資本合計	148,654	149,485
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	103	115
土地再評価差額金	△5,659	△5,659
退職給付に係る調整累計額	0	0
その他の包括利益累計額合計	△5,555	△5,543
新株予約権	273	272
非支配株主持分	666	564
純資産合計	144,039	144,778
負債純資産合計	174,106	168,501

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	16,282	17,004
売上原価	6,221	6,420
売上総利益	10,061	10,584
販売費及び一般管理費	2,010	1,962
営業利益	8,050	8,621
営業外収益		
受取利息	8	11
不動産賃貸料	123	135
雑収入	39	39
営業外収益合計	171	186
営業外費用		
支払利息	0	—
不動産賃貸原価	25	18
雑損失	4	1
営業外費用合計	29	19
経常利益	8,192	8,788
特別利益		
固定資産売却益	10	5
投資有価証券売却益	48	—
特別利益合計	58	5
特別損失		
固定資産除却損	1	25
盗難損失	—	9
特別損失合計	1	35
税金等調整前四半期純利益	8,249	8,759
法人税等	2,947	2,926
四半期純利益	5,302	5,833
非支配株主に帰属する四半期純利益	58	44
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,243	5,788

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純利益	5,302	5,833
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13	12
退職給付に係る調整額	—	△0
その他の包括利益合計	13	12
四半期包括利益	5,315	5,845
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,256	5,800
非支配株主に係る四半期包括利益	58	44

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,249	8,759
減価償却費及びその他の償却費 のれん償却額	887	780
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4	3
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	312	330
受取利息及び受取配当金	3	25
支払利息	△8	△11
有形固定資産除売却損益 (△は益)	0	—
オークション勘定の増減額	△4	20
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,854	△770
仕入債務の増減額 (△は減少)	420	299
預り金の増減額 (△は減少)	△192	△75
預り金の増減額 (△は減少)	△15	△79
その他	△248	△1,924
小計	7,555	7,356
利息及び配当金の受取額	18	29
利息の支払額	△0	—
法人税等の支払額	△8,033	△6,596
営業活動によるキャッシュ・フロー	△459	790
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△6,300	—
有価証券の取得による支出	△3,000	△4,000
有価証券の償還による収入	—	4,000
有形固定資産の取得による支出	△609	△437
有形固定資産の売却による収入	24	8
無形固定資産の取得による支出	△129	△46
投資有価証券の売却による収入	88	—
投資不動産の売却による収入	229	—
その他	△75	△8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,772	△484
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△23	—
預り保証金の預りによる収入	37	57
預り保証金の返還による支出	△16	△15
自己株式の取得による支出	△0	—
自己株式の売却による収入	37	39
配当金の支払額	△4,860	△4,977
非支配株主への配当金の支払額	—	△147
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△9	△17
その他	—	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,833	△5,059
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△15,066	△4,754
現金及び現金同等物の期首残高	34,618	29,462
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,552	24,708

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成26年4月1日至平成26年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	オートオー クシオン	中古自動 車等買取 販売	計				
売上高							
外部顧客への売上高	12,128	2,386	14,515	1,767	16,282	—	16,282
セグメント間の内部売上高または振替高	176	0	176	0	177	△177	—
計	12,305	2,386	14,692	1,768	16,460	△177	16,282
セグメント利益	7,657	94	7,752	258	8,011	39	8,050

（注）1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、株式会社アビズの廃自動車等のリサイクル事業と株式会社カークエストの廃ゴムのリサイクル事業および株式会社USSロジスティクス・インターナショナル・サービスの中古自動車の輸出手続代行サービス事業等であります。

2. セグメント利益の調整額39百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	オートオー クシオン	中古自動 車等買取 販売	計				
売上高							
外部顧客への売 上高	12,852	2,421	15,274	1,730	17,004	—	17,004
セグメント間の 内部売上高また は振替高	168	0	168	1	169	△169	—
計	13,021	2,421	15,443	1,731	17,174	△169	17,004
セグメント利益	8,273	137	8,411	153	8,564	57	8,621

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、株式会社アビズの廃自動車等のリサイクル事業と株式会社カークエストの廃ゴムのリサイクル事業および株式会社USSロジスティクス・インターナショナル・サービスの中古自動車の輸出手続代行サービス事業等であります。

2. セグメント利益の調整額57百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 業績

(連結業績)

(単位：億円)

	27年3月期	28年3月期		
	第1四半期	第1四半期	増減率(%)	通期予想
売上高	162	170	4.4	712
営業利益	80	86	7.1	350
経常利益	81	87	7.3	356
親会社株主に帰属する四半期純利益	52	57	10.4	234

(2) セグメント別営業収益

(連結業績)

(単位：億円)

	27年3月期	28年3月期		
	第1四半期	第1四半期	増減率(%)	通期予想
《オートオークション》				
出品手数料	31	32	2.4	134
成約手数料	28	30	7.7	121
落札手数料	40	42	6.2	181
商品売上高	2	4	41.4	15
その他の営業収入	18	18	3.3	76
オートオークション計	121	128	6.0	529
《中古自動車等買取販売》				
中古自動車買取販売	15	16	3.6	73
事故現状車買取販売	7	7	△2.8	36
中古自動車等買取販売計	23	24	1.5	110
《その他》				
廃自動車等のリサイクル	13	13	△1.4	50
廃ゴムのリサイクル	2	2	△8.9	14
中古自動車の輸出手続	1	1	6.7	6
代行サービス	0	0	△12.9	0
その他	0	0	△12.9	0
その他計	17	17	△2.1	72
合計	162	170	4.4	712

(3) 設備投資額、減価償却費

(連結業績)

(単位：億円)

	27年3月期	28年3月期		
	第1四半期	第1四半期	増減率(%)	通期予想
設備投資額				
支出ベース	7	4	△34.4	120
完工ベース	0	3	409.0	30
減価償却費	8	7	△10.5	37